

## AI 活用領域におけるHEROZとの業務提携契約締結について

2021年6月11日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社（TOYO、取締役社長 永松 治夫）と人工知能（AI）を活用したインターネットサービスの企画・開発・運営を行うHEROZ株式会社（HEROZ、代表取締役 CEO 林 隆弘）は、プラントの設計・建設に関するAI技術の活用及びAIシステムの共同開発における業務提携契約を締結いたしました。

ビジネス環境の激しい変化に対応し、世の中ではデジタルテクノロジーが目覚ましく進化しており、プラントエンジニアリング業界でもデジタル技術を活用した様々な取り組みが進められています。業界各社はデジタルトランスフォーメーションをスピーディーに進めることで生産性を高め、お客様により一層の付加価値を提供することが求められています。

EPC（設計・調達・建設）を一括で請け負う大型プロジェクトにおけるリスクマネジメントは、より高い効果と確実性、そのための標準化が求められています。TOYOは、AI技術の活用やAIシステムの開発・実装による生産性向上の早期実現を目指してHEROZと協力していきます。

本業務提携により、TOYOは全てのプロジェクトにHEROZと開発するEPC強靱化に向けたシステムを導入して、DXoT（Digital Transformation of TOYO）で目指す生産性6倍に寄与し、営業段階からプロジェクト完遂に至る一気通貫のデジタルライゼーションを目指していきます。

### HEROZについて

HEROZは、「驚きを心に」をコンセプトとして人工知能（AI）等の技術で「世界を驚かすサービスを創出する」ことを目指している。今後も独自AI「HEROZ Kishin」\*を軸にディープラーニング（深層学習）等の機械学習の研究開発やビジネス活用を続け、人工知能（AI）革命を起こし、未来を創る。

\* HEROZ Kishin：これまで人間には解決できなかった問題に挑戦し、新時代を創造するAI

### TOYOのDXoTについて

お客様のニーズに迅速かつ柔軟に対応するために、2018年度からDX活動を開始し、2019年7月にDXoT推進部を設置。既存の業務プロセスの変革を通じたDXoTの完遂によって、2024年度までに生産性を6倍にすることを目標とする。EPCはもとより、営業・経理・プロジェクト管理・情報管理など、ビジネスのあらゆる領域を対象に総合的な取り組みを推進している。

DXoTのビジョンと取り組み：<https://www.toyo-eng.com/jp/ja/advantage/dxot/>

<お問い合わせ先>

広報・IR部 [担当：飯田、福島] TEL：047-454-1113